

洗濯機防水パン KPW640 取扱説明書

- 本体やトラップに同梱されている取扱説明書は、使用者に製品を正しく安全に使用して頂くための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないよう大切に保管し、施工完了後、切り取り線に沿って、切り取り、ご使用者または建築施工責任者にお渡しください。
- 洗濯機用排水トラップの取付けは、必ず洗濯機用排水トラップ添付の取扱説明書にしたがって施工してください。

安全に関するご注意

施工の前に、この安全に関するご注意をお読みの上、正しく施工してください。

◎説明書を無視して誤った工事をしたときに生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
◎お守りいただく内容の書類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

注意



- 施工は、施工手順にしたがい確実に行ってください。(施工に不備があると、水もれの原因となります。)
- 配水管は、確実に施工してください。(配水管接続部に不備があると、水もれの原因となります。)
- 商品の改造、仕様変更はしないでください。(水もれ等、事故の原因となります。)
- トラップに熱湯やシンナー等の溶剤を流さないでください。
- 施工時に潤滑剤等使用しないでください。(トラップが変形して水もれの原因になることがあります。)

その他のご注意

施工をしていただくに当たり、下記のことについてご注意ください。

- (1) 防水パン及び横排水・縦排水トラップは、共にプラスチックを使用していますので、落としたり、足で踏んだりしないでください。
- (2) チーランプやタバコ・マッチ等の火気を近づけないでください。
- (3) 重量物・硬い物・鋭利な物を落としたり、又そのような物でたたいたり、こすったりしないで下さい。
- (4) 塗料・溶剤(シンナー)・薬品等をつけてください。
- (5) 汚れは中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジ等で洗って下さい。
- (6) 排水トラップの中には、モルタルやゴミ・ガラ等異物を入れないで下さい。(水の流れが悪くなり、水漏れの原因になります。)
- (7) 防水パンの上に仕上げ壁を立ち上げないでください。(図1)
- (8) 設置場所の仕上げ床は平坦でたわみのない床になるように仕上げて下さい。

○この洗濯機防水パンには、専用トラップを必ずご使用下さい。(他社製トラップをご使用になられますと取付に不備が生じる可能性があり水漏れの原因になります。)



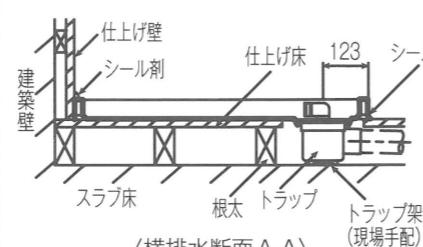
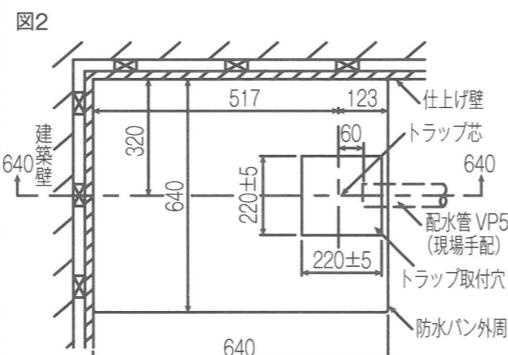
防水パンの施工手順

1 位置決め

- 防水パンの置くところを正確に位置出しあげください。(図2)
- 横排水の場合所定の位置に配水管をのばし、又は縦排水の場合排水トラップ取付芯に来るよう配水管を立ち上げて仕上げ床を貼ってください。
- 排水トラップ位置を確認し排水トラップ用開口部を220開口で設けます。(図2)
- 防水パンを設置する床面が平坦でたわみのない床であることをご確認下さい。

ご注意

排水トラップ開口部の寸法及び方向には十分ご注意ください。場合によっては、配水管と排水トラップの接続が困難になります。



2 防水パンの取付手順

- 【横排水トラップの場合】**
- (1) トラップ本体をトラップ取付芯に合わせ、トラップ本体上面(ロックネジをはずした状態)と仕上げ床との高さが(図3)になるように架台(ライナー)モルタルで調整してください。
 - (2) トラップ本体と配水管を取り付けてください。この時、トラップのオーバーフローをなくすため、トラップの勾配は1/50以上とってください。
 - (3) 同梱の固定ネジ4本で仕上げ床に防水パンを固定後、化粧キャップを取り付けてください。(図5)
 - (4) 防水パンと仕上げ床との間に市販のシール剤でコーキングしてください。

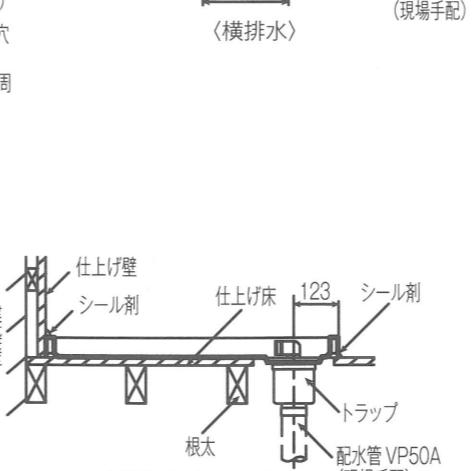
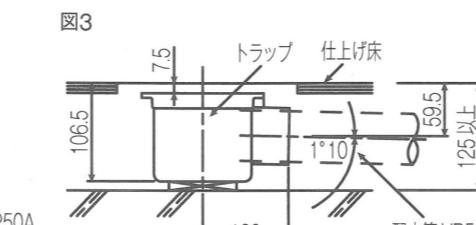
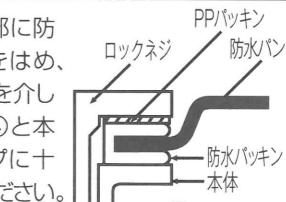


図6 〈床板が厚すぎた場合のトラブル例〉

3 排水トラップの取付要領

- (1) 防水パンの穴部に防水パッキン②をはめ、PPパッキン③を介してロックネジ④と本体①をトラップに十分締め付けてください。(図7)
- (2) ロックネジ④にオワン⑤を取り付けて、消泡管⑥・防臭パッキン⑦・シューター⑧の順に取り付けてください。
- (3) 目皿⑨を消泡管⑥に通してロックネジ④に手締めしてください。
- (4) 消泡管⑥に洗濯機用エルボ⑩を十分差し込んでください。



- ご注意**
- ロックネジとトラップ本体との締め付けが不十分ですと水もれの原因となります。

最終点検 施工後、トラップ取付部、配管接続部の接続が正しくできたかの確認のために、水を張って水もれがないかを点検してください。